

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：第3次産業活動指数(11月)  
～高水準で安定推移～

発表日：1月24日(火)  
(No. J-211)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 徳永香奈  
TEL：03-5221-4549

(単位：%)

		第3次産業活動指数										
		前期比		前年比		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業
04	1-3月	0.0	2.4	1.8	▲3.0	▲0.5	▲0.1	1.0	▲0.2	▲0.6	1.0	▲0.2
	4-6月	1.6	2.5	1.6	3.3	0.7	0.5	2.4	1.6	0.5	0.7	3.0
	7-9月	▲0.2	2.5	0.2	▲3.4	0.5	0.1	▲1.9	0.1	▲0.8	0.9	0.8
	10-12月	0.6	2.0	▲2.4	3.7	▲0.1	▲0.1	0.6	0.6	▲0.1	0.2	1.5
05	1-3月	1.4	2.2	4.2	▲2.1	0.2	1.6	1.8	▲0.3	3.0	1.0	2.3
	4-6月	0.0	1.8	▲0.9	1.3	1.3	0.0	▲1.0	1.1	▲0.7	▲0.5	▲0.1
	7-9月	0.3	2.2	▲0.8	0.3	▲0.1	▲0.6	3.2	0.6	▲0.8	0.3	0.7
04	1月	2.0	2.5	2.5	▲4.1	0.8	3.4	3.0	0.2	▲2.5	2.2	2.5
	2月	▲3.1	2.7	▲1.9	▲0.6	▲3.0	▲3.6	▲3.3	▲2.8	0.2	▲3.6	▲4.0
	3月	1.6	2.1	1.5	0.2	2.6	▲0.6	4.6	3.1	1.0	4.2	0.6
	4月	2.0	3.4	▲0.1	2.1	0.2	3.2	1.7	0.4	▲0.2	▲0.6	4.4
	5月	▲1.0	1.0	1.6	▲1.0	▲0.5	▲2.0	▲1.4	0.2	0.5	0.1	▲0.7
	6月	0.6	3.0	0.8	5.7	0.6	1.1	▲0.8	0.3	▲0.9	▲0.6	0.1
	7月	▲0.3	3.4	0.1	▲9.3	1.3	0.9	▲1.7	▲0.2	1.2	0.6	0.4
	8月	0.2	2.6	▲2.0	4.9	▲1.6	▲1.0	1.1	0.1	▲3.1	1.0	0.2
	9月	0.0	1.6	1.3	▲0.4	0.2	▲0.5	▲0.1	▲0.1	1.8	▲0.3	1.6
	10月	0.3	0.5	▲1.4	2.4	0.4	1.2	0.1	▲0.2	▲0.7	▲0.4	▲1.1
	11月	0.3	3.0	▲1.6	▲1.4	0.3	▲0.7	0.8	1.0	▲2.1	0.9	1.9
	12月	0.1	2.4	▲0.6	2.4	▲0.8	0.0	▲1.0	0.3	5.7	▲0.4	0.7
05	1月	2.4	3.1	3.6	▲3.1	0.6	4.6	▲0.3	2.9	0.1	1.9	1.9
	2月	▲1.2	1.5	2.3	1.1	▲1.1	▲2.7	▲1.0	▲0.3	▲0.8	▲2.0	▲0.7
	3月	▲0.9	2.0	▲0.2	▲2.6	2.3	▲2.9	▲0.2	▲1.2	1.3	1.5	▲0.7
	4月	1.7	1.7	▲0.6	1.8	0.5	4.3	▲0.2	1.4	▲0.7	▲0.5	1.2
	5月	▲1.5	1.8	▲2.8	▲1.3	▲1.4	▲2.2	▲0.6	1.0	▲0.7	▲0.3	▲1.8
	6月	0.9	1.9	2.7	5.5	1.9	0.8	0.1	▲0.2	▲0.4	▲0.5	2.0
	7月	▲0.7	1.2	▲5.3	▲4.7	▲0.8	▲0.6	0.3	▲0.5	▲0.6	0.3	▲0.4
	8月	1.6	3.2	5.7	1.7	0.5	1.7	3.6	1.8	▲0.5	1.1	0.9
	9月	▲0.8	2.1	0.6	▲0.7	▲0.6	▲2.6	2.4	▲0.9	1.5	▲1.2	▲0.5
	10月	1.3	3.1	▲0.5	6.0	▲0.4	1.7	▲1.1	1.1	▲0.3	0.0	0.7
	11月	0.1	2.9	▲1.2	▲1.3	0.6	0.8	1.8	▲0.3	▲1.1	0.5	▲0.2

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

## ○ 第3次産業活動指数は前月比+0.1%と高水準で安定推移

11月の第3次産業活動指数は前月比+0.1%と市場予想（コンセンサス+0.4%、レンジ▲0.7%～+1.0%）をやや下回ったが、前年比で見ると+2.9%と安定的な伸びを続けていることから分かるように、基調としては高水準での緩やかな改善傾向が続いている。内訳をみると、卸・小売業（同+0.8%）、金融・保険業（同+1.8%）等が上昇に寄与する一方、情報通信業（同▲1.3%）、飲食店・宿泊業（同▲1.1%）等が低下に寄与した。卸・小売業（寄与度+0.19ポイント）については、厳冬による気温の低下により、コート等の重衣料品の売上が堅調であったことが押し上げに寄与した。また金融・保険業（寄与度+0.16ポイント）については、前月に引き続き株式市場の活況を背景に手数料収入が伸びていることが影響している。情報通信業（寄与度▲0.13ポイント）については、前月に+6.0%と大きく増加したことの反動減によるものである。先行きに関しても、雇用・所得環境の改善や消費マインドの安定推移を背景に個人消費の底堅さは持続するとみられることから、第3次産業活動指数も堅調な推移が続くとみられる。

## ○ 全産業活動指数も前月比+0.3%と揃って上昇

同時に公表された11月の全産業活動指数も前月比+0.3%と揃って上昇した。内訳をみると、第3次産業活動指数（寄与度+0.06ポイント）や鉱工業生産指数（同+0.29ポイント）に加え、堅調な設備投資や住宅着工を背景に建築活動指数が前月比+0.2%と4ヶ月ぶりに上昇に転じたことも、全産業活動指数の押し上

げに寄与した。第3次産業活動指数、鉱工業生産指数、建設業活動指数の全てが前月比プラスに寄与しており、経済のサプライサイドにおいても、製造業・非製造業のバランスのとれた安定的な回復局面に入っていることが確認される。

なお、全産業活動指数の10-11月平均を7-9月期比でみると+1.2%となり、全産業活動指数は4期連続で増加する可能性が高くなった。10-12月期のGDP成長率はある程度の高い伸びとの見方が増えているが、供給面のGDPといわれる全産業活動指数が高い伸びとなっていることは、こうした見方を裏付けるものである。

